


2016年度

基本資料

事業計画書
収支予算書
関連資料

公益社団法人 岡山青年会議所

2016年度スローガン

<p>公益社団法人日本青年会議所 スローガン</p> <p>強く 優しく しなやかに あらゆる価値の根源となれ！</p>	<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 スローガン</p> <p>共感からつながる 中国の実現</p>
<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 スローガン</p> <p>利他の心から共感が広がる 岡山の創造</p>	<p>公益社団法人岡山青年会議所 スローガン</p> 

〔目 次〕

[1] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	基本理念 基本方針	2
[2] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	理事長所信	3
[3] 副理事長方針			5
[4] 専務理事・常任理事方針			7
[5] 委員長事業計画			8
[6] 監事抱負			11
[7] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	委員会職務分掌	12
[8] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	年間公式スケジュール表	14
[9] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	組織図	16
[10] 公益社団法人日本青年会議所	2016年度	出向者	17
[11] 公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2016年度 出向者	17
[12] 公益社団法人日本青年会議所	中国地区 岡山ブロック協議会	2016年度 出向者	17
[13] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	理事長セクレタリー	17
[14] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	役員選挙管理委員会 委嘱メンバー	17
[15] 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	収支予算書	18
(付) 公益社団法人岡山青年会議所	2016年度	理事長公職委嘱表	21
公益社団法人日本青年会議所	2016年度	組織図	22
公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2016年度 組織図	23
公益社団法人日本青年会議所	中国地区 岡山ブロック協議会	2016年度 組織図	23
公益社団法人岡山青年会議所	歴代理事長		24



基本理念 66年の歴史と伝統を纏い、「おかやま」からもっとも必要とされる団体であり続けるために、行動し続けることによっておかやまに価値ある変化を創出することで、岡山青年会議所の魅力を高めよう。そして、「岡山人」の育成を通じて、誇りある郷土の創造と未来を担う子どものために活動し、未来を切り拓く挑戦を続けよう。

基本方針 共に困難を乗り越え、積極的に変化を求めることでリーダーとしての資質を手に入れよう。自ら変化に挑戦するような成長を実感し、ひとのため、まちのために懸命に行動できる存在となろう。

新たな仲間との出会いの為に、自らの言葉と行動と熱意を持ってJCの魅力を伝え、同時にメンバー一人ひとりが魅力的な存在であろう。多くの人へ理解され、共感と共鳴を得られる広報手法を検討し、発信力を向上させよう。

郷土おかやまの発展を実現するために、若者らしく自ら変化を生み出し行動する「岡山人」の育成をしよう。誰もが誇りに感じ、魅力あふれるまち「おかやま」の実現を目指して運動を展開していこう。

とまることなく流れ続ける「とき」や「空間」を共に尊重し、相互啓発していく「JAYCEE」。形ではない、「一期一会」と「主客一体」の精神を岡山青年会議所の宝とし、一体感が生まれる最高の交流の場を創造しよう。

66年の歴史ある組織をさらに強固なものにし、透明性・公平性を高めよう。地域に根付いた団体として責任ある組織運営を行い、変化を恐れず、新しい価値を創造し、より信頼のある団体へと昇華しよう。

〔2〕公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 理事長所信



第66代理事長 佐野 範 一

2011年 1月入会
後期：渉外交渉委員会
2012年 渉外交渉委員会
2013年 岡山J Cブランド確立委員会 副委員長
2014年 総務委員会 理事委員長
2015年 副理事長 兼 会員研修委員会 委員長

長引く不況に苦しめられた日本経済も、アベノミクスによる大規模金融緩和により、株高、円安を背景に明るい兆しが見えつつあります。しかし依然として、少子高齢化による社会活力の低下、都市化・過疎化の進行、格差の再生産・固定化、地球規模の環境・エネルギー問題、民族紛争など様々な危機に直面し、社会の急激な変化に翻弄され続けています。このような変化の激しい時代に生き残るには、変化に柔軟に対応しなければならないと私たちは教えられてきました。しかし、何か問題が表面化した時、大規模な事件事故や災害が起こった時など、何か重大なことが起きた時に、その場その場で個別に対応することで精一杯であるのが現実です。今後ますます多様化・複雑化する社会で負の連鎖を断ち切り、人や自然と共生する成熟した新たな社会システムに転換するためには、理想に向けて自ら変化を生み出し、今までの常識にとらわれない新しい価値を社会に創出することが必要ではないでしょうか。

岡山青年会議所の設立趣意書には、岡山青年会議所のあるべき姿が書かれています。「吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同士を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。」岡山青年会議所は志を持った多様な人材を集め、力を合わせ、卓越したリーダーとして郷土に貢献することを理想としています。郷土おかやま発展のビジョンを実現させるため、私たちが自らの変化を恐れず、志高く行動すれば、湖に投じた一石が大きな波紋を作るように市民を巻き込んでいくことができるはずです。変化を生み出す行動は、これまで感じることでできなかった、手に入れることができなかった価値の創造につながります。始めはたった一人の小さな変化が、次々と同志を増やし、やがてまち全体の大きなうねりへと変わること、それが青年会議所の運動の本質なのです。戦後の廢墟から奇跡の復興を遂げ、経済成長をなしたのは、先人たちの志が生み出した運動があったからに他なりません。私たちは今こそおかやま発展の使命を帯び、変化がもたらす新たな価値を創出すべきなのです。

ひとつづくり室（自らを変え優れたリーダーとなる）

若者が集う団体が多く存在する中で、岡山青年会議所が誇るべきものは何でしょうか。一つはこれまで65年間、脈々と守り育ててきた「ひとつづくり」の風土です。岡山青年会議所は人に始まり、人に終わる、徹底して人にこだわる組織です。人と人が集い、積極的な変化を経験し、困難を乗り越え、新しい出会いや、わくわくするような時間を仲間と共有しながら、リーダーとして必要な情と理の資質を体得していくのです。多くの人は変化を嫌います。新しい何かに挑戦するよりも、ストレスの少ない安心と安全に包まれた環境に居続けることを選んでしまいます。けれども変化の激しい社会において、若者が安定ばかり追い求めるのは、近い将来に大きなリスクになるのではないでしょうか。今の若者にこそ「ひとつづくり」のJ Cが必要なのです。岡山青年会議所であれば、人にこだわる濃密な環境の中で、変化を恐れる気持ちを仲間とともに少しずつ克服し、一つ一つ成功体験を積み重ねることを通して、いつしか自ら変化に挑戦するような成長を実感できるはずです。変化は同志がいるから乗り越えることができます。仲間のおかげという成功経験があるからこそ、今度は自分が誰かの役に立ちたいという思いが芽生え、人のため、まちのために懸命に行動できる人間へと変われるのです。私たちはあらゆる機会をチャンスととらえ、本気で向き合い、より良い変化を生み出すために学ばなければなりません。こうして培われた自ら変化に挑戦して行動する力は、必ずや地域のリーダーとして郷土おかやまの発展に貢献するための、大きな武器となるでしょう。

拡大室（共に活動する仲間を増やし、活動を発信することで共鳴を得る）

会員の減少はこれまでの弛まぬ活動によって、また特別会員の皆様のご協力をいただき何とか歯止めがかかったものの、依然として会員拡大がL O M最大の課題です。次代を担う同世代の若者が、J Cでしか経験できない貴重な機会を逃してしまうことは、とても惜しいことです。拡大対象者からはJ Cに入ったらどんなメリットがあるのか、と良く聞かれます。もちろん単純な費用対効果では、計れないものです。私たちは自らの言葉でJ Cの魅力伝えるとともに、メンバー一人ひとりが誰から見ても魅力的で、輝ける存在でなければなりません。その輝きが、多くの仲間との新たな出会いに繋がるのです。

会員拡大とは、組織を単に維持するために行う活動ではありません。将来まちづくりに貢献する人財を増やす活動であり、公益に資する青年会議所運動そのものと言えます。国や地域、そして輝かしい未来のために志高く行動できるリーダーを生み出すための、最初の一步を担っているのです。全国には、近年大きく会員増強に成功しているL O Mも多く存在しています。「情報」を集め、労を厭わず「行動」し、「熱意」をもって伝えることを意識し、既存の拡大活動のみならず、新たな手法についても積極的に取り組みます。

広報活動は、私たちの活動を知ってもらおう大切な役割であり、発信力が問われます。音が大きいくほど、より遠くま

で届くように、力強く発信した活動は、多くの人へ理解され、共感と共鳴を得ることにつながります。発信力を向上させるため、自らホームページや広

報誌で興味を持ってもらえる内容を掲載することとともに、行政やマスコミとの連携を強化して運動発信を積み重ねていきます。

まちづくり室（自ら変化を起こす岡山人の育成）

政府が進める地方創生は「まち・ひと・しごと」の創生が掲げられています。その基本方針は、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を生み出し、「まち」に活力を取り戻すことです。但し地方創生は、行政がやってくれること、ではありません。岡山市にとって、地方創生のあるべき姿とはどのような姿なのかを描き、理想に向けて行動するのは、地方の未来を担う私たち一人ひとりです。

岡山市は、中四国の交通の要衝であり、温暖な気候や恵まれた自然環境があり、災害も少ない、誰もが認める大変住みやすいまちです。地方の人口減少が切実な問題である中、県内はもとより、県外からの移住者も多く、現状では人口を維持しています。岡山市には、多くの人から選ばれる価値や魅力がまだまだ潜在しているのです。

私たちの活動は、そうした地域に隠れている新たな価値や魅力を発掘し、誰もがもっとまちを誇りに思い、愛することができるように、そして未来を担う子どもたちの笑顔があふれるように、元来まちが持つ魅力をさらに磨き上げることです。その過程では多くの市民と関わりを深め、市民とともに活動することが必要となります。郷土を想い、郷土のために行動できる人々が多く集う地域が、活性化しないはずがありません。地域を取り巻く環境が変化する中で、地域の自立した発展に真に必要なのは、やはり「ひと」ではないでしょうか。郷土を愛する心を持ち、未来のために自ら変化を生み出し行動する「岡山人」こそが、地方創生の原動力となるのです。

また、夏の風物詩として定着したうらじゃは、今年で23回目を迎えます。市民の皆様にも愛され、多くの踊り子と観客が参加するこの祭りは、今やなくてはならない存在です。まちにとっても市民にとっても大切な存在であるうらじゃについて、その歴史を振り返って検証し、多くの市民が運営に関わり、より多くの市民が参加する祭りへと進化させなければなりません。誰もが誇りに感じる祭りへと発展させ、また観光資源として多くの人が呼べるよう、今年度もうらじゃを支援します。

交流室（交流を通じて自らを変える）

青年会議所活動の面白さは、郷土を愛する心や共通の体験をもった仲間が、岡山県内をはじめ全国にいることです。同世代の、JCという同じ学び舎で学ぶ者同士だからこそ分かりあえることが多く、刺激し合い、多くの気づきや共感を得ることが出来ます。JA Y C E E 同士が集い交わる機会は、そのような醍醐味を経験できる貴重な場となります。そのためメンバー同士の交流は、その場が面白いだけの交流の深め方ではなく、お互いがひびきを交えて肝胆相照らし語らうことが大切なのです。

交流の場を設営する側に求められることは、場を設える空間づくり(ハードウェア)、場を営むおもてなし(ソフトウェア)両方へのこだわりです。貴重な機会を最大限生かすために、相手の立場に立ち、礼儀礼節を重んじ、来ていただける方への深い感謝の気持ちを持った設営をすることです。会の目的を見定め、目的達成のために手間を惜しまず心を配ると、その気持ちは参加された側も必ず感じ取ることが出来ます。岡山青年会議所の伝統の「おもてなし」の心を持って、知恵を絞り、相手の気持ちに立った設営をすることで、互いに実りの多い価値ある時間にしましょう。

対して参加する側の意識としては、寝食を惜しんで設営して頂いたことへの感謝の気持ちを持つことです。相手がやってくれて当たり前ではなく、設営して頂いた方への気遣い、その思いを感じとれる感性を大切にすべきです。そうして相手に最大限の敬意を払い、常に学び取ろう、自分の糧にしようとする前向きな心構えを持って参加することが、結果として交流が深まるだけでなく、自らを高めることにもつながるのです。

総務室（強い組織のために自らを変える）

公益法人格を取得している我々は、諸先輩方から受け継いだ組織運営を学び、組織の透明性・公平性を保たなければなりません。近年の公益目的事業の実施については、年会費から振り出す事業費とともに、多くの市民や企業より協賛金をいただくことで成り立っています。協賛金については、組織への信頼があってこそ可能なことです。地域に根付いた公益を目的とする団体として責任のある厳格な組織運営がなければ、信頼を得ることはできません。岡山青年会議所の信頼は、メンバー一人ひとりへの信頼の積み重ねの結果でもあります。私たちはその責任の重さを自覚し、自らを律して行動することが、組織に対する評価へとつながるのです。

また、限られた予算を、より公益目的の活動に重点的に配分するためには、効率的で多様な事業運営、組織運営を迫る必要もあります。いつの時代も、人だけでなく組織も学び進化し続けなければなりません。岡山青年会議所が明るい豊かな社会の実現に向けてこれからも永続的に活動するためにも、人も組織もより良い変化を迫り、新たな価値を創造していきましょう。

むすびに

自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ

これは、リクルート社の旧・社訓から引用させていただいた私の大好きな言葉です。青年会議所活動には様々なチャンスがあります。そのチャンスを生かすも殺すも自分次第です。私たちは、家族の時間、会社の時間、自分の時間、全ての人が共通して持つ時間を削って青年会議所活動をしています。目の前にあるチャンスをどのようにとらえるかで、成長のスピード、吸収できるものが違います。我々に残された時間は40歳までしかありません。青年会議所活動ができる今を、全力で駆け抜けましょう。このかけがえのない仲間、過ごした時間を意味のあるものにするのは自分たちです。

自らを変えるため、おかやまを変えるため、前に進み、青年らしく自ら変化を起こして行こうではありませんか。

最後に、特別会員、現役会員、そして関係各位の皆様におかれましては、引き続きの絶大なご支援、ご協力を賜りますと共に、ご指導、ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

〔3〕副理事長方針



2011年 7月入会
2012年 会員研修委員会
2013年 まちづくり委員会 幹事
2014年 総務委員会 副委員長
2015年 会員拡大特別委員会 理事
委員長

ひとづくり室

副理事長 **高見 宣哉**

本年度、ひとづくり室担当副理事長ならびに会員研修委員会委員長という大役を拝命し、その果たすべき責務の大きさと重さを強く感じております。

岡山青年会議所が65年間、連綿と育て続けてきた「ひとづくり」という風土は、礼儀礼節の研鑽は勿論のこと、仲間と共に様々な困難に挑戦し克服する濃密な時間を過ごすことで、友情だけでなく、リーダーとしての資質を積み上げる環境の創出に他ならないと考えます。

社会の急激な変化や、時間が益々濃縮されていく時代の中で、相応しい手法を用いながら、この「ひとづくり」の風土や目的を継承していく必要があります。徹底して人にこだわる組織である岡山青年会議所の存在感を示すために、青年経済人として、強烈な存在感や活力を発揮するリーダーへと成長できるよう、積極的に、且つ有意義に取り組んで参ります。そして、我々を青年会議所での活動に送り出してくれている会社や家庭で認められ、自分自身もその成長を実感し、更なる挑戦へと積極的に駆り立てる機会を見出していきます。

最後になりましたが、特別会員の皆様、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。



2009年 1月入会
後期：日本JIC渉外委員会
2010年 会員研修委員会 幹事
2011年 ローカル・アクティビティ
委員会 副委員長
2012年 まちづくり委員会 理事委
員長
2013年 総務委員会 理事委員長
2014年 専務理事
2015年 まちづくり室 副理事長

拡大室

副理事長 **上 神 健 治**

本年度、佐野理事長より岡山青年会議所の「拡大室」担当副理事長兼「岡山JICの魅力発信委員会」委員長を拝命いたしました。光栄に思うと同時にその責任の重さを強く感じております。全力で佐野理事長をサポートし、職務を全うして参ります。

岡山JICの魅力や活動内容を市民に認知していただき、同じ志を持つ仲間を一人でも多く迎え入れる為に、本年度拡大室では、特に「不易と流行」を意識しながら活動して参ります。伝えるべき岡山JICの魅力とはメンバー一人ひとりの魅力そのものです。昨今薄れて来ている岡山JICの魅力（ひとづくりの風土）を再度徹底した委員会運営を行い、まずはメンバーの成長を軸に持って参ります。その中で、自らの言葉と行動、熱意を持って魅力を伝えることで、共に活動する仲間を増やして参ります。

広報に関しては既存概念にとらわれることなく新たな内容と手法を検討し、より市民から共感と共鳴を得られる発信力のある広報活動を行って参ります。

LOM最大の課題であります会員拡大に全力で取り組んで参ります。特別会員の皆様をはじめ、メンバーの皆様におかれましてはより一層のご指導ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2010年 7月入会
 2011年 会員研修委員会
 2012年 例会・親睦委員会 幹事
 2013年 まちづくり委員会 副委員長
 2014年 会員研修委員会 幹事
 2015年 広報・渉外委員会 理事委員長

まちづくり室

副理事長 **野上昌範**

本年度、佐野理事長のもと副理事長を仰せつかり、光栄に思うと同時に重責の担いに身の引き締まる思いです。これまで培ってきた6年間の経験を活かし、齊藤常任理事兼委員長率いる「岡山の未来創造委員会」と、木村委員長率いる「まちづくり委員会」と共に、佐野理事長が思い描く地域の魅力を最大限創造して参ります。

地方創生が掲げられている現代社会において、岡山青年会議所は郷土岡山の発展の為に、これまでに以上に「不易と流行」を意識する必要がある、実現の為に、行政・各種団体・市民が一体となり活動をおこなわなければなりません。その中で、活動を通じて市民一人一人の心を動かし、全ての世代が自ら変化を生み出し行動できる「岡山人」の育成を一年間取り組んで参ります。

また、本年で第23回を迎える「うらじゃ」では、今まで以上に、岡山市民が誇りに感じられる祭りへと発展させるべく取り組んで参ります。

最後になりましたが、これまで諸先輩方から教えていただいた事を活かし、社会や市民から必要とされる団体となるように一年間邁進して参ります。特別会員、現役会員の皆様におかれましてはより一層のご指導ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



2004年 1月入会
 後期：まつり委員会
 2005年 渉外委員会
 2006年 例会・親睦委員会 幹事
 2007年 総務財政委員会
 2008年 会員研修委員会
 2009年 渉外委員会 副委員長
 2010年 渉外交流委員会 理事委員長
 2011年 常任理事
 2012年 常任理事
 会員研修委員会 委員長
 2013年 常任理事
 まちづくり委員会 委員長
 2014年 副理事長
 2015年 組織未来室 専務理事

交流室

副理事長 **宮武聡一郎**

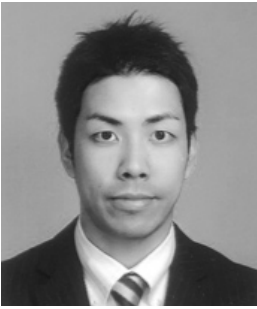
本年度、佐野理事長のもと、副理事長を仰せつかりその重責を強く感じております。昨年の専務理事の経験を活かし理事長を補佐することはもちろんのこと佐野理事長が想い描く、理想に向けて自ら変化を生み出し、今までの常識にとられない新しい価値を社会に創出してまいります。

昨年65周年の節目の年を迎えました。そして本年度は新たな挑戦の年を迎えることとなりますが、とまることなく流れ続ける「とき」や「空間」を共に尊重し、岡山青年会議所が大切にしている、かけがえない友との友情・感謝の心、そして形ではない岡山青年会議所だからこそできるおもてなしのこころを本気で提供してまいります。

諸先輩から脈々と受け継がれてきた岡山青年会議所だからこそできる「OMOIYARI」と「おもてなし」のこころを今一度再構築し、「まちづくり」が出来る「ひとづくり」の団体として、国が力を入れている地方創生等の役割を私達を中心となって行えるように全力を注いで参ります。

最終年度となる本年これまで多くの先輩方にご教授賜りました。次代は変われど「岡山J.Cという宝」に変わりはありません。ご教授賜ったことを余すことなく伝え残せるよう一年間精一杯活動して参る所存でございます。特別会員の皆様をはじめ、会員諸兄の皆様方の絶大なるご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

〔4〕専務理事・常任理事方針



総務室

専務理事 **小林 佑輔**

本年度、佐野理事長より専務理事という大役を仰せつかり、責務と役割の重さを強く感じております。六十六年の伝統ある岡山青年会議所の歴史を知り、将来に引き継いでいく覚悟を持って一年間活動して参ります。専務理事として、佐野理事長をはじめ副理事長をしっかりとお支えし、また、他青年会議所や特別会員の皆様との連携を密にとりながら、円滑なLOM運営を行って参ります。

総務室といたしましては、岡部常任理事と総務委員会青木委員長とともに、組織の要として、岡山青年会議所の諸先輩方が築き上げてこられた組織を、責任を持って受け継ぎ、時代の変化に順応しながら、より透明性と公平性を保っていきます。また、地域に根付いた公益を目的とする団体として、責任ある厳格な組織運営を行い、市民からより信頼のおける団体へと成長します。「不易と流行」を意識し、常により良い変化を追求し、新たな価値を創造できる団体へと昇華して参ります。メンバー一人一人が大胆に変化し得る機会を創り、成長できる環境づくりに努めます。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2011年 1月入会
後期：例会親睦委員会
2012年 総務・広報委員会 幹事
2013年 岡山JCブランド確立委員会
2014年 渉外委員会 副委員長
2015年 総務委員会 理事委員長



まちづくり室

常任理事 **齊藤 雄一郎**

本年度、佐野理事長よりまちづくり室担当常任理事という大役をご指名いただき、その重責とやりがいを強く感じております。野上副理事長からご指導をいただきながら、私が率います岡山の未来創造委員会と木村委員長率いるまちづくり委員会とを共有し、今まで多くの特別会員の皆様からご指導を頂いた思いを纏い、公益法人である岡山青年会議所の根幹に関わるまちづくり事業を推進して参ります。

地方創生が叫ばれる現在、郷土岡山の発展のため岡山青年会議所メンバーこそが行動し続け、積極的にまちづくり事業を行い、岡山市民の皆様と関わりを持ち活動をともし、未来のために自ら変化を生み出すための「岡山人」育成を通じ、岡山の未来を創造する必要があります。

また、本年で23回目を迎える「うらじゃ」については今まで以上に郷土岡山に必要とされる祭りへと発展させるために岡山市民の皆様との協働を模索し、誰もが誇りに感じられる祭りへと発展させるべく、様々な角度から物事を考慮し支援させていただきます。

最後になりますが、特別会員・現役会員の皆様方には、今まで以上に、より一層のご指導ご鞭撻、またご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2010年 7月入会
2011年 総務・広報委員会
2012年 まちづくり委員会
法人格移行実践会議 幹事
2013年 まちづくり委員会 副委員長
2014年 まちづくり委員会 理事委員長
2015年 組織未来室 常任理事



総務室

常任理事 **岡部 憲一郎**

本年度佐野理事長より総務室担当常任理事と言う大役を仰せつかり、その重責を強く感じております。小林専務理事よりご指導いただきながら、青木委員長率いる総務委員会と共に65年の歴史の中で岡山青年会議所の諸先輩方が築いてこられた組織運営を引き継ぎ、前年を踏襲するだけではなく、その時代に沿った進化をし、公益法人団体として組織の公平性、透明性を高く保って参ります。また、岡山のまちに存在し、活動する団体として、厳正な組織運営を行い、正しい情報の整理・発信に勤め、地域より厚い信頼の得られる団体として昇華するよう活動してまいります。

公益法人格団体として岡山青年会議所会員のさらなる質の向上を求め、また、岡山人を育成する団体として、会員一人一人がより良い変化を追求し、大胆に行動することにより、新たな価値を生み出す組織として活動できるよう、組織運営に情熱傾けてまいります。

最後に、特別会員の皆様をはじめ、会員諸兄の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻、またご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2010年 7月入会
2011年 ローカル・アクティビティ委員会
2012年 渉外交流委員会 幹事
2013年 総務委員会 副委員長
2014年 まちづくり委員会 副委員長
2015年 まちづくり委員会 理事委員長

〔5〕 委員長事業計画

ひとづくり室 会員研修委員会



委員長 高見 宣 哉

明るい兆しが見えつつある日本経済ではありますが、依然として少子高齢化や地方の活力低下は継続的な問題であり、同時に、仕事や私生活を取り巻く環境は革新的な進歩とともに急激な変化を続け、時間という概念の濃縮は加速するばかりです。そのような時代を力強く生きるために、岡山青年会議所の会員研修委員会として実践すべきことは、困難を乗り越え、他を利することを美德とし、変化に挑戦する気概と見識を高めることであると考えます。

本年度の会員研修委員会では、青年経済人としての礼儀礼節や考え方を体得するために、新会員勉強会を行います。そして講師をお招きして委員会を開催することで、岡山青年会議所での活動を一層有意義にするための学びの機会を創ります。最初のプログラムとして3分間スピーチを開催し、徹底的に自分と向き合うことで自己実現のビジョンを明確なものにします。次に、団結して困難に挑み、その過程の中で切磋琢磨することで、感動を分かち合い、揺るがぬ「絆」を醸成します。最後のプログラムとして、L O Mサービス事業の計画と設営を経験し、岡山青年会議所の事業の目的や仕組みとともに、おもてなしや利他の精神を学び、変化に挑戦するような成長と仲間の大切さを実感してもらいたいと考えます。

研修プログラムだけではなく、日本青年会議所や中国地区協議会、岡山ブロック協議会およびL O Mが開催する事業に積極的に参加することで、各地のメンバーと出会い、様々な価値観に触れる機会として活かして参ります。また、「うらじゃ」に参加し岡山青年会議所のまちづくりにおける市民や行政との関わり合いを体感することで、郷土おかやまを誇りに思い、まちづくりについて考えるためのきっかけとします。

何事も参加する目的や意義を明確にし、研修期間を有意義で濃密な時間とすることで、岡山青年会議所メンバーとして活動する礎を培います。そして、「学び」と「出会い」が後の人生において大きな糧となるような研修と行い、変化に挑戦する資質を体得するひとづくりをして参ります。

2011年 7月入会
2012年 会員研修委員会
2013年 まちづくり委員会 幹事
2014年 総務委員会 副委員長
2015年 会員拡大特別委員会 理事
委員長

拡大室 岡山 J C の魅力発信委員会



委員長 上 神 健 治

岡山 J C の魅力や活動内容を市民に認知していただき、同じ志を持つ仲間を一人でも多くメンバーに迎え入れることは、まちづくりが出来る人材を増やすことであり、公益に資する活動の原点です。ここ数年会員数も増加傾向にあります。依然として会員拡大がL O M最大の課題であることに変わりはありません。

本年度は通年で30名の会員拡大を目標とさせていただきます。まずは毎月開催します委員長連絡会議や各種会合を通してL O Mメンバー全員の拡大に対する意識の向上を図ります。また、当委員会で本年度3回の講師例会を担当させていただきます。こちらの例会をしっかりと活用し、L O MメンバーのLDに繋げることはもちろん、同世代の一般市民にも多く参加していただき、共におかやまを盛り上げるきっかけとなる企画・設営をさせていただきます。そして何よりも700名を超える特別会員の皆様から頂ける情報です。同好会や各種会合等にも積極的に参加させていただき、先輩方とのコミュニケーションを密にとらせていただき、拡大に関してもご支援ご協力をいただけますと幸いです。

広報活動に関しましては、目まぐるしいスピードで変化を続ける情報社会で、より発信力があり、メンバーや市民から共感、共鳴を得られる内容や手法を検討して参ります。年6回発行する広報誌「暖流」やホームページにおいては岡山青年会議所の現在の取り組みや活動情報を発信すると同時に、広く一般市民にも受け入れられる内容を検討することで発信力を向上させ、フェイスブックなどのSNSを使用した情報発信はタイムリーな情報をスピード感を持って楽しく発信して参ります。また各情報機関との情報交換会や懇親会を行い、相互のコミュニケーションを醸成することで、まちづくり事業の情報発信のみならずL O M全体の活動をより多くの人に知っていただく為の関係を構築して参ります。

岡山 J C の魅力を自らの言葉と行動と熱意を持って伝えることで、多くの人から共感と共鳴を得、共に活動する仲間を増やし、岡山 J C の存在価値を高めて参ります。

2009年 1月入会
後期：日本 J C 渉外委員会
2010年 会員研修委員会 幹事
2011年 ローカル・アクティビティ
委員会 副委員長
2012年 まちづくり委員会 理事
委員長
2013年 総務委員会 理事委員長
2014年 専務理事
2015年 まちづくり室 副理事長

まちづくり室 岡山の未来創造委員会



委員長 齊藤 雄一郎

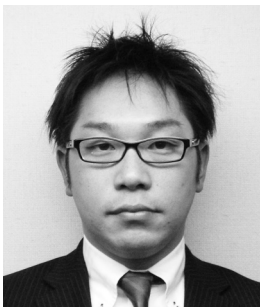
2010年 7月入会
2011年 総務・広報委員会
2012年 まちづくり委員会
法人格移行実践会議 幹事
2013年 まちづくり委員会 副委員長
2014年 まちづくり委員会 理事委員長
2015年 組織未来室 常任理事

アベノミクスが掲げられて以来、日本経済は都心を中心とした景気回復傾向にあります。一方、地方に目を向けると景気回復には程遠く、都心と地方の格差が如実に実感できる状況です。この格差を解決するためには自ら行動し、我々の郷土岡山にとって現状を打破し変革すること、即ち「地方創生」を実現することが必要です。その実現には我々青年こそが岡山の先頭に立ち、事業を通じて活動を続けることにより、多くの同じ思いを持った人を巻き込み共通の思いを持った「岡山人」の伝播を通じ、岡山の未来を切り拓かなければなりません。

岡山の未来を切り拓くためには何が必要なのでしょうか。「岡山人」の原点である子どもたちについては普段学校では学ぶことが出来ない多くの事象とふれあうことの出来る事業の構築が必要です。より多くの市民の皆様との関係を保つため、これまで以上に密接に関係を保ち岡山にある企業、行政の皆様と協同し社会のなりたちを体験する事業を行い、郷土岡山必要な子どもたちの育成を行います。子どもたちが自ら考え、活動し得た経験こそかけがえのない価値であり、自分から行動することの尊さを感じる事の出来る事業を行い、岡山の未来に必要な人財の育成に繋がります。また、今までふれあうことのなかった地域との関係を通じ、より多くの市民皆様との共同体験を通じてからこそ得ることが出来る、郷土岡山地域の良さを再認識することが必要です。地域の良さを感ずるからこそ自立自活した地域を創造し、地域を活性化させる事業を構築し、岡山の未来を創造することができる人財である「岡山人」の育成に繋がります。

最後になりましたが、公益社団法人である岡山青年会議所は「公の利益」を考慮し活動しなければなりません。岡山青年会議所が市民と協力して郷土岡山の原動力となる事業を行い、地域全体を巻き込み、事業展開を行い、今まで多くの先輩から受け継いだ意思を繋げることが出来る団体である岡山青年会議所だからこそ出来る事業を通じ、未来に向けた郷土岡山の創造を積極的に取り組んでまいります。

まちづくり室 まちづくり委員会



理事委員長 木村 治貴

2012年 前期入会
後期 例会・親睦委員会
2013年 渉外委員会
2014年 総務委員会 幹事
2015年 会員拡大特別委員会 副委員長

政府が進めるアベノミクスにより、株価や経済成長率、企業業績、雇用などの多くの経済指標は、著しい改善を見せていると言われています。しかし、郷土おかやまに住み暮らす私達は、その改善を実感できているでしょうか。今、郷土おかやまに必要なもの、それは、そこに住み暮らす人達が実感のできる地方創生です。交通の要衝であり、災害が少ない自然環境も恵まれた地域である、この郷土おかやまで、66年間もの間、郷土の為に活動をし続け、そして公益社団法人格を取得した我々は、地方創生のあるべき姿を思い描き、誰もが郷土おかやまを愛し、誇りに思うことのできるまちづくりに邁進します。

今年度、23回目を迎えるうらじゃは、多くの市民や踊り子が参加をする、夏の岡山を代表する祭りとなっています。地方創生の起爆剤ともなる、このうらじゃを、これからも回を重ね、より良い大きなものへと発展させるべく、多くの市民が運営や参加をし、また、全国的にも知名度を上げ観光資源として多くの観光客を呼び込む為にも、我々は、より密接に市民の方や行政、マスコミ、そして各種他団体と協働を模索し、郷土おかやまに住み暮らす人達に、今まで以上に愛され誇りに感じられる祭りになるよう関わります。

そして、うらじゃの運営に携わる事だけでなく、1年を通じ、郷土おかやまの発展の為に、時間を費やします。郷土おかやまは、どの様なまちなのか、周りからどのようなまちに見られているのか、そして、どのようなまちにしたいのかを考え、そして我々だけが考えるのではなく、住み暮らす人々が、郷土おかやまの発展の為に考え、自ら変化を生み出し行動できる「岡山人」を育成する活動をして参ります。

まちづくり委員会は、市民意識変革団体の一員として、多くの市民とともに活動することで、郷土おかやまの隠れている新たな価値を見出し、「うらじゃのあるまち」ではなく「うらじゃもあるまち」へ意識変革をし、その魅力を磨き、誰もが愛し誇りに思うことができる様な、地方創生の一助となるべくまちづくり活動を行います。

交流室 渉外委員会



委員長 宮 武 聡一郎

私達メンバーの取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。社会は少しずつではありますが景気回復の兆しが見えておりますが、まだまだ大きな不安と混乱の時代の中にあり、本来私たちが持っている美德や道徳観の崩壊が進み、人と人とのつながりや明るい豊かな社会を築くための熱い情熱が薄らいできているように感じます。そのような中、青年会議所活動の根底ともいえる友情を育む「機会」を提供していく私達渉外委員会は、今一度原点に立ち返り「OMOIYARI」と「おもてなし」のこのころの再構築を行うと共に、過去の事業やその経緯を調べた上で、その「機会」を提供してまいります。

新年賀詞交換会では、歴代理事長をはじめ多くの特別会員の皆様、同じ志をもった各地会員会議所の皆様にご臨席賜ります。礼儀礼節はもちろんの事、ご臨席頂きました皆様に「一期一会」と「主客一体」の精神を感じて頂くように、LOMメンバーの出席率を100%になるよう努めます。その手法として、事業等におけるスケジュール管理を徹底し、LOMメンバーになぜ参加するのか、目的は何かを明確に伝えます。

また、出向者を支援する例会、事業等では、LOMを代表する出向者の支援を一番に考え、出向者の皆様にもLOMを代表しているという自覚と責任、そして自己成長して頂くよう、出向への決意表明、出向先の事業説明等の時間を提供し、その中で参加して頂いたメンバーにも出向先の活動内容を学んで頂き、出向への興味を持って頂けるような設営を行います。「友好LOM交歓会」では、席次等を役職、同年、出向者等に工夫をし、一つ一つの会にテーマを与え、未来へつながる感動や楽しさ、そして歴史などの学びが得られるような工夫を行い、今後の「友好LOM交歓会」の模範となるように努めます。

これらの取り組みを行う事により、岡山青年会議所が大切にしてきた「OMOIYARI」と「おもてなし」のこのころを継承する事ができ、地域社会に求められる存在となる事を確信致します。

2004年 1月入会
後期：まっすり委員会
2005年 渉外委員会
2006年 例会・親睦委員会 幹事
2007年 総務財政委員会
2008年 会員研修委員会
2009年 渉外委員会 副委員長
2010年 渉外交流委員会 理事委員長
2011年 常任理事
2012年 常任理事
会員研修委員会 委員長
2013年 常任理事
まちづくり委員会 委員長
2014年 副理事長
2015年 組織未来室 専務理事

総務室 総務委員会



理事委員長 青 木 浩 平

岡山青年会議所が誇りある郷土の創造を実現する為に、運動を展開していくには、地域に根付き、信頼される組織であり続けなければなりません。その為には、岡山青年会議所が、地域から必要とされ、郷土に貢献できる高い効果を持った運動を展開し、地域から認められることが重要です。信頼を得ること、その根幹にあるのは、会員一人一人が責任を持った誇りある組織であり、透明性・公平性を持った、組織運営を展開していくことです。

執行部会議、理事会におきましては、事前に資料を確実に揃え、会議の円滑な運営に努めます。そして、会議資料を十分精査し、公益を目的とする責任ある厳格な組織に値する、高い効果が得られる会議を運営します。LOMメンバーが持つ力を最大限に発揮し、委員会活動ができるよう、委員長セミナー、副委員長・幹事セミナーを開催します。セミナーを通じて、自らの役割と委員会スタッフとしての責任を十分に認識していただき、各委員会が統一意識を持って、委員会運営ができる礎を学んでいただきます。事業計画・基本資料、会員手帳については、中身をしっかりと吟味し、見やすいことを第一に作成して行きます。地方自治体、企業、LOMメンバーからお預かりする協賛金・会費については、透明性をもって効率的で多様な運営・管理に努めて参ります。歴代理事長会議、特別会員・現役会員合同例会におきましては、特別会員と現役会員が顔を合わせ、特別会員の皆様が今まで培われてきた、岡山青年会議所の歴史を学び、今後のLOM運営に、活かしていく場となるよう設営いたします。出向者支援LOMナイトにおきましては、日本青年会議所、中国地区協議会に出向されました皆様の、一年間の活動内容をLOMメンバーに知っていただき、形だけでなく心から、出向者を支援・慰労できる、懇親の場を設営します。

透明性かつ公平性を持った組織運営に努めることにより、地域から信頼された盤石な組織を築きます。そして、会員が何事にも挑戦していき、変化することで、新たな価値を創造し続ける組織となります。

2012年 前期入会
後期 渉外・交流委員会
2013年 渉外委員会 幹事
2014年 まちづくり委員会 幹事
2015年 総務委員会 副委員長

〔6〕 監事抱負



監事 村川 智博

2016年度公益社団法人岡山青年会議所監事をご指名頂き、その重責を強く感じると共に自覚をもって努めさせて頂く所存でございます。今後、岡山青年会議所が発展していくためには3つのキーワードがあると感じております。それは「会員の拡大」「管理の徹底」「伝統の継承」です。2016年度は近年で最も卒業生を多く排出する年です。地域に影響力のある岡山青年会議所であり続けるためには組織の規模も重要であると考えます。この年にメンバー丸となって会員数を純増させ、より多くの方を巻き込み地域に良い影響を与えられるように私自身も取り組みたいと思います。また、次年度は公益法人として4年目を迎え更にマイナンバー制度という新たな制度も始まります。事業に至ってはより一層厳しい目でその公益性を問われるという自覚を持ち計画・実行し、それを管理する立場のメンバーには法や定款に則った運営が出来ているかをしっかりと見極める力と教養を持って取り組んで頂きたいと思っております。更に、歴の浅いメンバーが増える中、公益社団法人岡山青年会議所としての歴史・伝統を若いメンバーにどのように伝承していくか。過去私が12年間学ばせて頂いたことを監事として、卒業していくものとして、佐野理事長予定者のもと時には初心にかえり、自分を律する事を忘れずにメンバー全員が快適で活力ある運動が出来るよう支えて参りたいと思っております。皆様からの多大なるご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。

2004年 7月入会
2005年 まちの活力創造委員会
2006年 会員研修委員会
2007年 会員研修委員会 幹事
2008年 親睦委員会 副委員長
2009年 出向支援特別委員会 副委員長
2010年 まちづくり委員会 副委員長
2011年 ローカル・アクティビティ委員会 理事委員長
2012年 常任理事
2012年 うらじゃ支援会議 副議長
2013年 岡山JCブランド確立委員会 理事委員長
2014年 監事
2015年 監事



監事 李 大成

本年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事という大役を佐野理事長より拝命し、本当に身の引き締まる思いです。

今まで様々な先輩方からご指導いただきました。しかしそれらの経験をアウトプットする事が全てではなく、温故知新を考え自分自身が研鑽することこそ組織の力になると考え、鋭意監査して参る所存でございます。

組織図で表される様に、縦横のラインから離れた唯一の役職として、俯瞰的な立場から組織の力になれる様、取り組んで参ります。またどこにも属さず全てに属する立場という権利を使い、メンバーと関わって参りたいと思っております。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2006年 7月入会
2007年 総務財政委員会
2008年 会員研修委員会 幹事
2009年 出向支援特別委員会 幹事
2010年 日本JC特別委員会 副委員長
2011年 例会・親睦委員会 副委員長
2012年 例会・親睦委員会 理事委員長
2013年 会員研修委員会 理事委員長
2014年 常任理事
2015年 交流室副理事長

【会員研修委員会】

- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ 変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・ 前期、後期新会員の研修
- ・ 青年経済人としての礼儀・マナーの研修
- ・ JCI クリウド、JCI MISSION、JCI VISION、JC 宣言・綱領、岡山 JC 三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・ 講師委員会の開催
- ・ 3分間スピーチの実施
- ・ 団結して困難に挑み、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより、青年経済人としての絆を醸成するプログラムを実施
- ・ LOM サービス事業を通しての研修
- ・ コミュニティプラザの開催
- ・ 他委員会への委員会訪問の実施
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 例会の企画・設営・実施
- ・ 第 23 回「うらじゃ」への支援・協力

【岡山 JC の魅力発信委員会】

- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ 入会予定者へのオリエンテーションの開催と面接の段取り
- ・ 講師例会の企画・設営・実施
- ・ 委員長連絡会議、拡大会議の設営・開催
- ・ 対内、対外的な広報の見直し・検討
- ・ 広報誌「暖流」の発行
- ・ 岡山 JC ホームページの作成・運用
- ・ SNS を活用した広報活動の検討・実施
- ・ 報道機関への対応および記者会見、懇親会の検討・開催
- ・ 出向者支援 LOM ナイトの企画・設営・実施
- ・ スマイルの実施
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力

- ・ 第 23 回「うらじゃ」への支援・協力

【岡山の未来創造委員会】

- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ おかやまの未来を切り拓くために、地域の人や資源とふれあうことにより人財を育成する事業の企画・実施
- ・ おかやまの未来に必要な人財である子どもが夢を持ち、活動することが出来る事業の企画・実施
- ・ 緊急災害時における対応
- ・ おかやま桃太郎まつりへの支援・協力
- ・ 出向者支援 LOM ナイトの企画・設営・実施
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 例会の企画・設営・実施
- ・ 第 23 回「うらじゃ」への支援・協力

【まちづくり委員会】

- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ 郷土を愛し、未来のために自ら変化を生み出し行動する「岡山人」を育成するための事業の計画・実施
- ・ まちづくりに関して行政との連携・協働
- ・ 第 23 回「うらじゃ」実行委員会への参画
- ・ うらじゃ振興会への参画
- ・ おかやま桃太郎まつりへの支援・協力
- ・ 行政情報交換会の企画・設営・実施
- ・ 出向者支援ナイトの企画・設営・実施
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 例会の企画・設営・実施

【渉外委員会】

- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会各種ミッションへの積極的参加を促す手

- 法の検討・構築及び参加の取り纏め
- ・特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会の企画・設営・実施
- ・出向者支援ナイトの企画・設営・実施
- ・岡山ブロック協議会会長公式訪問例会の企画・設営・実施
- ・スポンサーLOM・友好LOMとの連絡調整及び交歓会等の企画・設営・実施
- ・日本JC・中国地区協議会・岡山ブロック協議会への連絡調整及び対応
- ・昭和51年生まれ卒業追い出し旅行の企画・設営・実施
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・例会の企画・設営・実施
- ・第23回「うらじゃ」への支援・協力

議の設営・開催

- ・特別会員・現役会員合同例会の設営・開催
- ・日本JC 日中友好の会への入会促進
- ・JCCSへの登録促進
- ・JCルーム・倉庫内の備品管理と発注
- ・情報公開の精査と実施
- ・事業報告書のデータ保存・管理
- ・出向者支援LOMナイトの企画・設営・実施
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・例会の企画・設営・実施
- ・特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・第23回「うらじゃ」への支援・協力

【総務委員会】

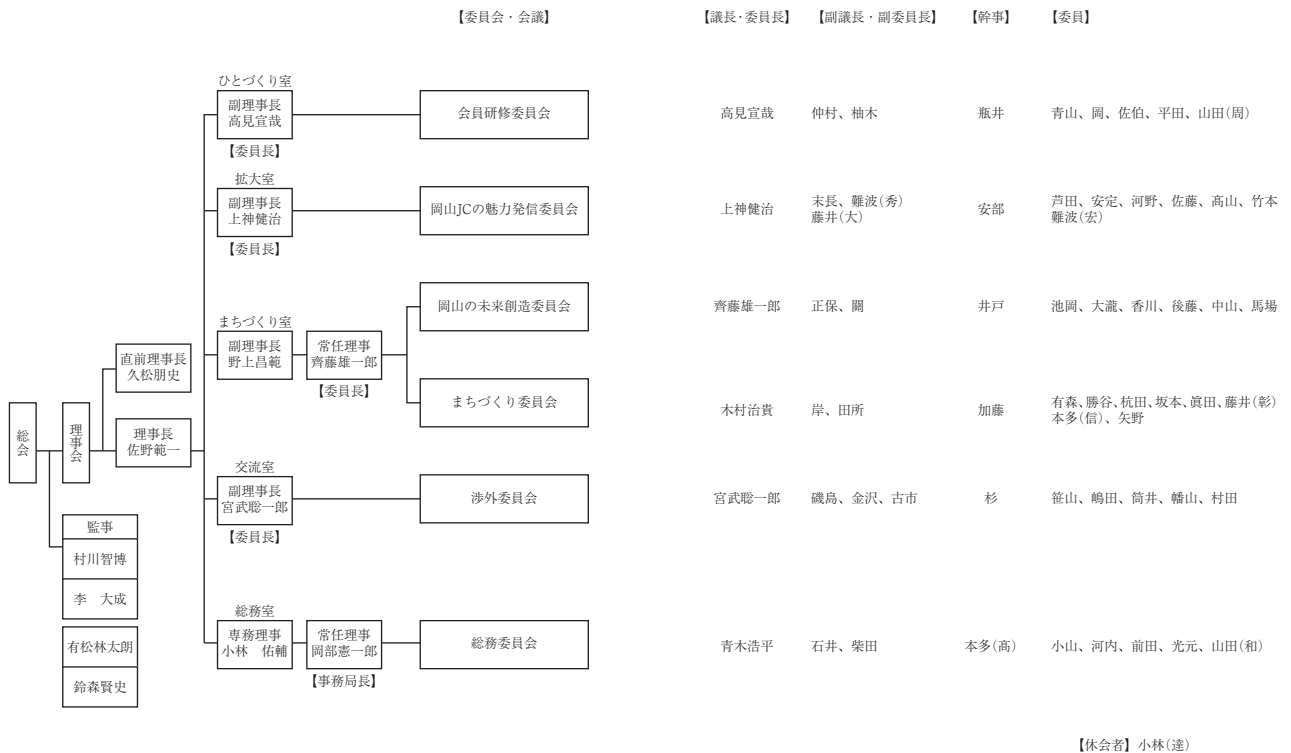
- ・会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・適正な公益法人会計の実施
- ・会計経理事務および慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成
- ・各委員会事業計画、収支予算および事業報告、収支決算の内容精査と各会議への上程資料精査
- ・議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・収支予算書、収支決算書の作成および修正予算、中間決算の実施
- ・2016年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
- ・LOM年間スケジュールの作成・確認
- ・理事長公職の整理・調整
- ・定款ならびに諸規程および諸規則の見直し・検討
- ・個人情報管理およびコンプライアンス遵守の確認
- ・理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーの企画・設営・開催
- ・シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会

〔8〕 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 年間公式スケジュール表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
岡山青年会議所	例会	14日(木)例会① バッジ授与式	10日(水)例会② 3分間スピーチ コミュニティ	2日(水)第一例会③ 講師例会 総会① スマイル 23日(水)第二例会④ ブロック会長公式訪 問例会	13日(水)例会⑤ 企画例会	11日(水)例会⑥ 講師例会	15日(水)例会⑦ コミュニテイ スマイル
	執行部会議	7日(木)第1回 執行部・理事合同会議	9日(火)第2回	8日(火)第3回	12日(火)第4回	10日(火)第5回 31日(火)第6回	28日(火)第7回
	理事会	1日(金)新年理事会 7日(木)第1回 執行部・理事合同会議	16日(火)第2回	15日(火)第3回	19日(火)第4回	17日(火)第5回	7日(火)第6回
	総務委員会	2015年12月24日(木)第1回	2日(火)第2回	1日(火)第3回	5日(火)第4回 26日(火)第5回	24日(火)第6回	21日(火)第7回
	行事	5日(火) 新年挨拶回り 14日(木) 特別会員・現役会員 合同新年賀詞交換会 21日(木)～24日(日) 京都会議	4日(木) 歴代理事長会議	日() 会頭公式訪問 19日(土) 新会員研修会(岡山)	3日(日) 玉島JC60周年 24日(日) ブロック懇親野球大 会(笠岡)	12日(木) ブロックじゃがいも 大会(総社) 日() 大阪JC交歓会(岡山) 29日(日)親睦事業	2日(木)～5日(日) ASPAC 台湾(高雄) 12日(日) 岡山ブロック大会 (真庭) 18日(土) 地区コンファレンス (岩国)
岡山ブロック協議会	役員会議	16日(土)岡山 30日(土)児島	5日(金)西大寺 27日(土)備前	7日(月)玉島 25日(金)岡山	5日(火)津山 30日(土)新見	6日(金)倉敷 28日(土)総社	6日(月)玉島 11日(土)真庭
	会員会議所会議	30日(土)児島	27日(土)備前	25日(金)岡山	30日(土)新見	28日(土)総社	12日(日)真庭
	公式訪問		22日(月)総社・高梁	11日(金) 倉敷・児島・玉島 14日(月)笠岡・井原 23日(水)岡山	14日(木) 西大寺・備前・玉野 26日(火) 津山・真庭・新見・美 作		
	事業			19日(土) 新会員研修会(岡山)	3日(日) 玉島JC60周年		12日(日) 岡山ブロック大会 (真庭)
	周年						
	その他	5日(火) 新年挨拶回り 12日(火) 倉敷JC新年互礼会 14日(木) 岡山JC新年賀詞交換会		日() 会頭公式訪問 10日(木) じゃがいもキャプテ ン会議(総社)	24日(日) ブロック懇親野球大 会(笠岡)	12日(木) ブロックじゃがいも 大会(総社) 29日(日) OB懇親野球大会(玉 野)	
中国地区協議会	役員会議	21日(木)京都 22日(金)京都	6日(土)西大寺	5日(土)庄原	2日(土)防府	14日(土)江津	17日(金)岩国
	会員会議所会議						17日(金)岩国
	事業						18日(土) 中国地区コンファレ ンス(岩国)
	周年行事				3日(日) 玉島JC60周年	14日(土) 吉南JC40周年 22日(日) 安来JC50周年	5日(日) 島根大田JC45周年 11日(土) 美弥JC50周年
	ブロック事業						12日(日) 岡山ブロック大会 (真庭)
	その他						
日本青年会議所	正副会頭会議	8日(金)	4日(木) 18日(木)	3日(木) 10日(木)	7日(木) 21日(木)	2日(月) 19日(木)	9日(木) 23日(木) 30日(木)
	常任理事会	9日(土)	19日(金)	11日(金)	22日(金)	20日(金)	24日(金)
	理事会	22日(金)京都	20日(土)	12日(土)	23日(土)	21日(土)	25日(土)
	ブロック会長会議	22日(金)京都	20日(土)	12日(土)	23日(土)	21日(土)	25日(土)
	総会	23日(土)京都		26日(土)東京			
	J C I 諸会議	11日(月)～17日(日) JCI常任理事会/理 事会 (JCI JEM/JBM) アメリカ(セントル イス)			27日(水)～30日(土) アメリカ地域会議	4日(水)～7日(土) アフリカ・中東地域 会議	2日(木)～5日(日) アジア・太平洋地域 会議 15日(水)～18日(土) ヨーロッパ地域会議
	NOM主要事業	21日(木)～24日(日) 京都会議					
	財政審査会議	5日(火)	13日(土)	5日(土)	16日(土)	14日(土)	18日(土)
	公益審査会議	6日(水)	14日(日)	6日(日)	17日(日)	15日(日)	19日(日)
コンプライアンス審査会議	5日(火)	13日(土)	5日(土)	16日(土)	14日(土)	18日(土)	

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	
岡山青年会議所	例会	6日(水)第一例会⑧ 総会② バッジ授与式 20日(水)第二例会⑨ 総会③ チャレンジスピーチ	10日(水)例会⑩ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙	1日(木)例会⑪ スマイル コミュニティ 15日(木)例会⑫ OB合同例会	12日(水)例会⑬ 講師例会	9日(水)例会⑭ スマイル 出向者報告	7日(水)第一例会⑮ さよなら例会 22日(木)第二例会⑯ 総会⑤	
	執行部会議	20日(水)第8回 執行部・理事合同会議	2日(火)第9回 23日(火)第10回 執行部・理事合同会議	13日(火)第11回	11日(火)第12回	15日(火)第13回	6日(火)第14回 執行部・理事合同会議	
	理事会	6日(水)第7回 20日(水)第8回 執行部・理事合同会議	9日(火)第9回 23日(火)第10回 執行部・理事合同会議	20日(火)第11回	18日(火)第12回	22日(火)第13回	6日(火)第14回 執行部・理事合同会議	
	総務委員会	12日(火)第8回 26日(火)第9回	16日(火)第10回	6日(火)第11回	4日(火)第12回	8日(火)第13回 29日(火)第14回		
	行事	2日(土) 児島JC 60周年 16日(土)～17日(日) サマーコンファレンス(横浜)	6日(土)～7日(日) 第23回うらじゃ	日() 高松JC交歓会(高松) 18日(日) 高松JC60周年 25日(日) 中国地区球技大会(光)	日() 広島JC交歓会(岡山) 6日(木)～9日(日) 全国大会(広島) 22日(土)～23日(日) 全国10L O Mテニス大会(名古屋) 30日(日)～4日(金) J C I 世界会議 カナダ(ケベック)	19日(土) 51年生追い出し旅行 日() 津山JC交歓会(岡山) 日() 倉敷JC交歓会(岡山) 26日(土) 本次年度引き継ぎ式(岡山)	22日(木) クリスマス家族会(親睦事業)	
岡山ブロック協議会	役員会議			7日(水)岡山 23日(金)西大寺	14日(金)岡山 21日(金)岡山	10日(木)岡山 26日(土)岡山		
	会員会議所会議			23日(金)西大寺	21日(金)岡山	26日(土)岡山		
	公式訪問							
	事業	2日(土) 児島JC 60周年				26日(土) 本次年度引き継ぎ式(岡山)		
	周年							
	その他							
中国地区協議会	役員会議	15日(金)横浜	20日(土)	24日(土)光	1日(土)境港	12日(土)玉野	3日(土)未定	
	会員会議所会議						3日(土)未定	
	事業		20日(土)JCカップ					
	周年行事	2日(土) 児島JC60周年 2日(土) 東伯JC35周年		3日(土) 竹原JC50周年 3日(土) 倉吉JC55周年	1日(土) 松江JC60周年			
	ブロック事業	日(日) 鳥根ブロック大会		日(日) 広島ブロック大会	日(日) 山口ブロック大会			
	その他			25日(日) 地区野球大会(光)	6日(木)～9日(日) 全国大会(広島)			
日本青年会議所	正副会頭会議	13日(水)		1日(木) 15日(木) 29日(木)		8日(火) 17日(木)	1日(木) 15日(木)	
	常任理事会	14日(木)		16日(金)		18日(金)	16日(金)	
	理事会	15日(金)横浜		17日(土)	7日(金)広島	19日(土)	17日(土)	
	ブロック会長会議	15日(金)横浜		17日(土)	7日(金)広島	19日(土)	17日(土)	
	総会				7日(金)広島			
	J C I 諸会議	22日(金)～25日(月) JCI中間常任理事会 (JCI MYE)				30日(日)～4日(金) J C I 世界会議 カナダ(ケベック)		
	N O M 主要事業	5日(火)～11日(日) 国際アカデミー(水戸) 16日(土)～17日(日) サマーコンファレンス(横浜)				6日(木)～9日(日) 全国大会(広島)		
	財政審査会議	9日(土)		10日(土)	15日(土)	12日(土)	10日(土)	
	公益審査会議	10日(日)		11日(日)	16日(日)	13日(日)	11日(日)	
コンプライアンス審査会議	9日(土)		10日(土)	15日(土)	12日(土)	10日(土)		

〔9〕公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 組織図



〔10〕 公益社団法人日本青年会議所 2016年度 出向者

国家グループ					
民間防衛力確立会議	委 員	關 和 敏			
	委 員	山 田 和 範			
民度向上委員会	委 員	難 波 秀 明			
地域グループ					
全国大会運営会議	委 員	仲 村 陽 平	委 員	平 田 知 之	
ムーヴメント拡大委員会	副委員長	岡 部 憲一郎			
	委 員	池 岡 弘 康	委 員	柴 田 収	
	委 員	嶋 田 昌 浩	委 員	村 川 智 博	
総務グループ					
共感デザイン構築会議	委 員	金 沢 竜 志			
渉外委員会	委 員	高 山 晃 一	委 員	古 市 聖一郎	

〔11〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2016年度 出向者

	副 会 長	久 松 朋 史			
	会長幹事	正 保 宏 倫	会長幹事	竹 本 幸 史	
	副会長幹事	岡 恭 弘	副会長幹事	藤 井 大 温	
54LOMをつなげる委員会	副委員長	磯 島 慈 海			
	委 員	眞 田 優 作			

〔12〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2016年度 出向者

	副 会 長	李 大 成			
	副会長幹事	香 川 陽 一	副会長幹事	光 元 俊 貴	
総務・全国大会連絡会議	副 議 長	石 井 聖 至			
心あるリーダー増強委員会	副委員長	柚 木 久 生			
	委 員	難 波 宏 行			
国家意識醸成委員会	副委員長	末 長 一 範			

〔13〕 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー 岸 紘 史 セクレタリー 大 瀧 健 嗣 セクレタリー 幡 山 益 聖

〔14〕 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー

委 員 長	久 松 朋 史	委 員	小 山 真 弘
副委員長	難 波 秀 明	委 員	後 藤 学
幹 事	山 田 周 作	委 員	中 山 友 二
委 員	安 定 あ い	委 員	藤 井 彰 一

〔15〕公益社団法人岡山青年会議所 収支予算書

2016年1月1日から2016年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000	10,000	0	
特定資産利息収入	10,000	10,000	0	
②受取入金収入	1,600,000	1,000,000	600,000	
受取入金収入	1,600,000	1,000,000	600,000	
③会費収入	18,514,000	15,970,000	2,544,000	
正会員会費収入	15,030,000	12,870,000	2,160,000	
特別会員会費収入	3,394,000	3,050,000	344,000	
特別会員積立金収入	90,000	50,000	40,000	
④事業収入	18,709,920	20,309,820	-1,599,900	
登録料収入	8,674,000	10,309,500	-1,635,500	
広告料収入	10,035,920	10,000,320	35,600	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	0	0	0	
⑦受取寄付金収入	160,000	100,000	60,000	
受取寄付金収入	160,000	100,000	60,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	146,000	145,000	1,000	
受取利息収入	2,000	1,000	1,000	
雑収入	144,000	144,000	0	
事業活動収入計	39,139,920	37,534,820	1,605,100	
2. 事業活動支出	0	0	0	
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	37,412,643	35,315,064	2,097,579	
総務費支出	600,000	600,000	0	
事務所費支出	3,080,000	3,080,000	0	
会議費支出	0	0	0	
給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
事務委託費支出	432,000	432,000	0	
旅費交通費支出	61,600	0	61,600	
通信費支出	1,252,521	1,222,941	29,580	
印刷費支出	2,716,616	2,244,929	471,687	
消耗品支出	543,911	473,928	69,983	
会員費支出	1,100,000	1,100,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	100,000	100,000	0	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	650,000	500,000	150,000	
J C I 渉外費	1,400,000	100,000	1,300,000	
備品購入支出	350,000	200,000	150,000	
雑支出	100,000	100,000	0	
賃借料	1,706,386	2,392,976	-686,590	
保険料	12,100	47,200	-35,100	
諸謝金	2,972,624	1,824,091	1,148,533	
委託費	8,466,979	9,309,711	-842,732	
助成金	10,017,720	9,981,000	36,720	
接待交際費	550,186	306,288	243,898	
③負担金支出	1,491,580	1,285,720	205,860	
加盟団体会費支出	1,491,580	1,285,720	205,860	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	38,904,223	36,600,784	2,303,439	
事業活動収支差額	235,697	934,036	-698,339	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	0	500,000	-500,000	
積立引当財産支出		500,000	-500,000	
投資活動支出計	0	500,000	-500,000	
投資活動収支差額	0	-500,000	500,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	235,697	434,036	-198,339	
前期繰越収支差額			0	
次期繰越収支差額				

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書

2016年1月1日から2016年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	予算額(公益)	予算額-共益等)	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	10,000	10,000		10,000	0
基本財産受取利息	10,000	10,000		10,000	0
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入会金	1,600,000	800,000	800,000	1,000,000	600,000
受取入会金	1,600,000	800,000	800,000	1,000,000	600,000
受取会費	18,514,000	9,257,000	9,257,000	15,970,000	2,544,000
正会員受取会費	15,030,000	7,515,000	7,515,000	12,870,000	2,160,000
特別会員受取会費	3,394,000	1,697,000	1,697,000	3,050,000	344,000
特別会員積立金収入	90,000	45,000	45,000	50,000	40,000
事業収益	18,709,920	12,835,920	5,874,000	20,309,820	-1,599,900
青少年育成事業収益	1,100,000	1,100,000	0	775,000	325,000
人材育成事業収益	1,700,000	1,700,000	0	2,025,000	-325,000
地域活性化事業収益	10,035,920	10,035,920	0	10,000,320	35,600
会員研修事業収益	5,874,000	0	5,874,000	7,509,500	-1,635,500
受取補助金等					
受取国庫補助金					
受取負担金					
受取負担金					
受取負担金振替額					
受取寄付金	160,000	160,000		100,000	60,000
受取寄付金	160,000	160,000		100,000	60,000
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	146,000	1,000	145,000	145,000	1,000
受取利息	2,000	1,000	1,000	1,000	1,000
有価証券運用益	0				0
雑収益	144,000		144,000	144,000	0
経常収益計	39,139,920	23,063,920	16,076,000	37,534,820	1,605,100
経常費用					
事業費	31,998,691	24,213,028	7,785,663	31,306,964	691,727
給料手当	1,129,050	958,100	170,950	1,079,000	50,050
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	550,186	0	550,186	306,288	243,898
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	61,600	61,600	0	0	61,600
通信運搬費	1,173,621	890,946	282,675	1,120,941	52,680
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	303,975	257,950	46,025	166,000	137,975
消耗品費	517,611	451,417	66,194	414,428	103,183
印刷製本費	2,573,859	2,431,102	142,757	2,108,929	464,930
燃料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0
賃借料	4,381,366	3,307,513	1,073,853	4,949,376	-568,010
保険料	12,100	12,100	0	47,200	-35,100
諸謝費	2,972,624	2,972,624	0	1,824,091	1,148,533
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	10,017,720	10,017,720	0	9,981,000	36,720
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	8,304,979	2,851,956	5,453,023	9,309,711	-1,004,732
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
管理費	6,905,532		6,905,532	5,293,820	1,611,712
給料手当	170,950		170,950	221,000	-50,050
臨時雇賃金	0		0	0	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	78,900		78,900	102,000	-23,100
減価償却費	0		0	0	0
消耗什器備品費	46,025		46,025	34,000	12,025
消耗品費	26,300		26,300	59,500	-33,200
印刷製本費	142,757		142,757	136,000	6,757
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	405,020		405,020	523,600	-118,580
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	1,491,580		1,491,580	1,285,720	205,860
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	2,394,000		2,394,000	2,232,000	162,000
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	2,150,000		2,150,000	700,000	1,450,000
経常費用計	38,904,223	24,213,028	14,691,195	36,600,784	2,303,439
当期経常増減額	235,697	-1,149,108	1,384,805	934,036	-698,339
当期一般正味財産増減	235,697	-1,149,108	1,384,805	934,036	-698,339
一般正味財産期首残高				48,835,684	0
一般正味財産期末残高				49,769,720	

公益目的事業比率

24,213,028

38,904,223

=

0.622

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書内訳表
2016年1月1日から2016年12月31日まで

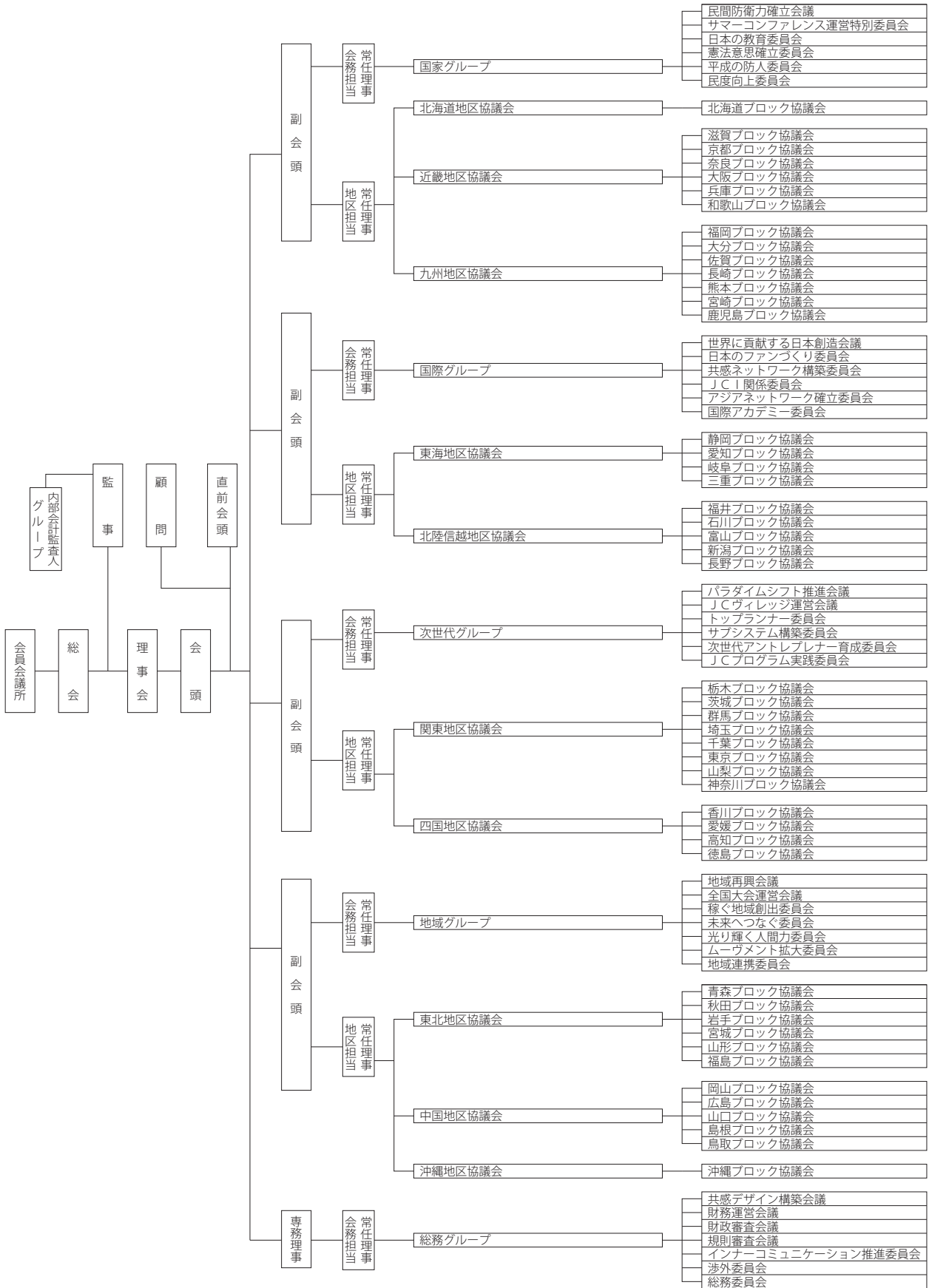
(単位：円)

科目	公益目的事業					収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	他1 会員研修	小計			
	青少年育成	人材育成	地域活性化							
一般正味財産増減の部										
経常収益					0					
基本財産運用益				10,000	10,000					10,000
基本財産受取利息				10,000	10,000					10,000
受取入金	0	0	0	800,000	800,000	400,000	400,000	400,000	0	1,600,000
受取入金				800,000	800,000	400,000	400,000	400,000		1,600,000
受取会費	0	0	0	9,257,000	9,257,000	4,628,500	4,628,500	4,628,500		18,514,000
正会員受取会費				7,515,000	7,515,000	3,757,500	3,757,500	3,757,500		15,030,000
特別会員受取会費				1,697,000	1,697,000	848,500	848,500	848,500		3,394,000
特別会員積立金収入				45,000	45,000	22,500	22,500	22,500		90,000
事業収益	1,100,000	1,700,000	10,035,920		12,835,920	5,874,000	5,874,000			18,709,920
青少年育成事業収益	1,100,000				1,100,000		0			1,100,000
人材育成事業収益		1,700,000			1,700,000		0			1,700,000
地域活性化事業収益			10,035,920		10,035,920		0			10,035,920
会員研修事業収益					0	5,874,000	5,874,000			5,874,000
受取補助金等	0	0	0		0					0
受取国庫補助金					0					0
受取負担金					0					0
受取負担金										0
受取負担金振替額										0
受取寄付金				160,000	160,000			0		160,000
受取寄付金				160,000	160,000					160,000
雑収益				1,000	1,000	500	500	144,500		146,000
受取利息				1,000	1,000	500	500	500		2,000
有価証券運用益										0
雑収益								144,000		144,000
経常収益計	1,100,000	1,700,000	10,035,920	10,228,000	23,063,920	10,903,000	10,903,000	5,173,000		39,139,920
経常費用										
事業費	3,840,481	4,431,982	15,940,565		24,213,028	7,785,663	7,785,663			31,998,691
給料手当	86,229	124,553	747,318		958,100	170,950	170,950			1,129,050
臨時雇賃金					0		0			0
接待交際費					0	550,186	550,186			550,186
福利厚生費					0		0			0
旅費交通費		61,600			61,600		0			61,600
通信運搬費	119,398	61,832	709,716		890,946	282,675	282,675			1,173,621
減価償却費					0		0			0
消耗什器備品費	23,216	33,533	201,201		257,950	46,025	46,025			303,975
消耗品費	315,135	21,310	114,972		451,417	66,194	66,194			517,611
印刷製本費	225,584	191,275	2,014,243		2,431,102	142,757	142,757			2,573,859
燃料費					0		0			0
光熱水料費					0		0			0
賃借料	1,088,449	448,495	1,770,569		3,307,513	1,073,853	1,073,853			4,381,366
保険料	12,100				12,100		0			12,100
諸謝費		2,972,624			2,972,624		0			2,972,624
租税公課					0		0			0
支払負担金					0		0			0
支払助成金			10,017,720		10,017,720		0			10,017,720
支払寄付金					0		0			0
委託費	1,970,370	516,760	364,826		2,851,956	5,453,023	5,453,023			8,304,979
有価証券運用費					0		0			0
雑費 雑支出					0		0			0
管理費								6,905,532	0	6,905,532
役員報酬								0		0
給料手当								170,950		170,950
退職給付費用										0
福利厚生費								0		0
会議費								0		0
旅費交通費								0		0
通信運搬費								78,900		78,900
減価償却費								0		0
消耗什器備品費								46,025		46,025
消耗品費								26,300		26,300
修繕費								0		0
印刷製本費								142,757		142,757
燃料費								0		0
光熱水料費								0		0
賃借料								405,020		405,020
保険料								0		0
諸謝費								0		0
租税公課								0		0
支払負担金								1,491,580		1,491,580
支払寄付金								0		0
支払利息								0		0
委託費 総務費								600,000		600,000
委託費 事務委託								432,000		432,000
委託費 会員費								1,100,000		1,100,000
委託費 特別会員費								100,000		100,000
委託費 広報費								162,000		162,000
雑費 渉外費								650,000		650,000
雑費 JCI渉外費								1,400,000		1,400,000
雑費 雑支出								100,000		100,000
経常費用計	3,840,481	4,431,982	15,940,565	0	24,213,028	7,785,663	7,785,663	6,905,532		38,904,223
評価損益等調整前当期経常増減額										0
特定資産評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	-2,740,481	-2,731,982	-5,904,645	10,228,000	-1,149,108	3,117,337	3,117,337	-1,732,532		235,697
経常外費用計										0
当期経常外増減額	-2,740,481	-2,731,982	-5,904,645	10,228,000	-1,149,108	3,117,337	3,117,337	-1,732,532		235,697
当期一般正味財産増減	-2,740,481	-2,731,982	-5,904,645	10,228,000	-1,149,108	3,117,337	3,117,337	-1,732,532		235,697
一般正味財産期首残高										0
一般正味財産期末残高										0

公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 理事長公職

- 岡山県青少年育成県民会議 常任理事
- 岡山県FOS少年団連盟 理事
- 岡山県美術館運営協議会 委員
- 社会福祉法人岡山県共同募金会 評議委員
- 岡山中央暴力追放推進協議会 会員
- 岡山県西暴力追放推進協議会 会員
- 『小さな親切』運動岡山本部 役員
- 岡山西安全・安心まちづくり推進協議会 委員
- 第65回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員
- 国立吉備青少年自然の家 施設業務運営委員会 委員
- 岡山市交通安全対策協議会 委員
- 岡山国際音楽祭実行委員会 委員
- 岡山市献血推進協議会 委員
- (財)岡山市公園協会 評議委員
- 春の花いっぱい運動 主催団体
- MOMOTAROU FANTASY実行委員会 実行委員長
- 「心豊かな岡山っ子」応援団 副団長
- 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員
- 岡山地方裁判所委員会 委員
- 岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事
- 旭川さくらみちの桜を守る会 理事
- 岡山県日韓親善協会 理事
- 岡山県警察友の会 会員
- 「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事
- 旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員
- 岡山まちとモビリティ研究会 会員
- 岡山っ子育成条例推進会議 委員

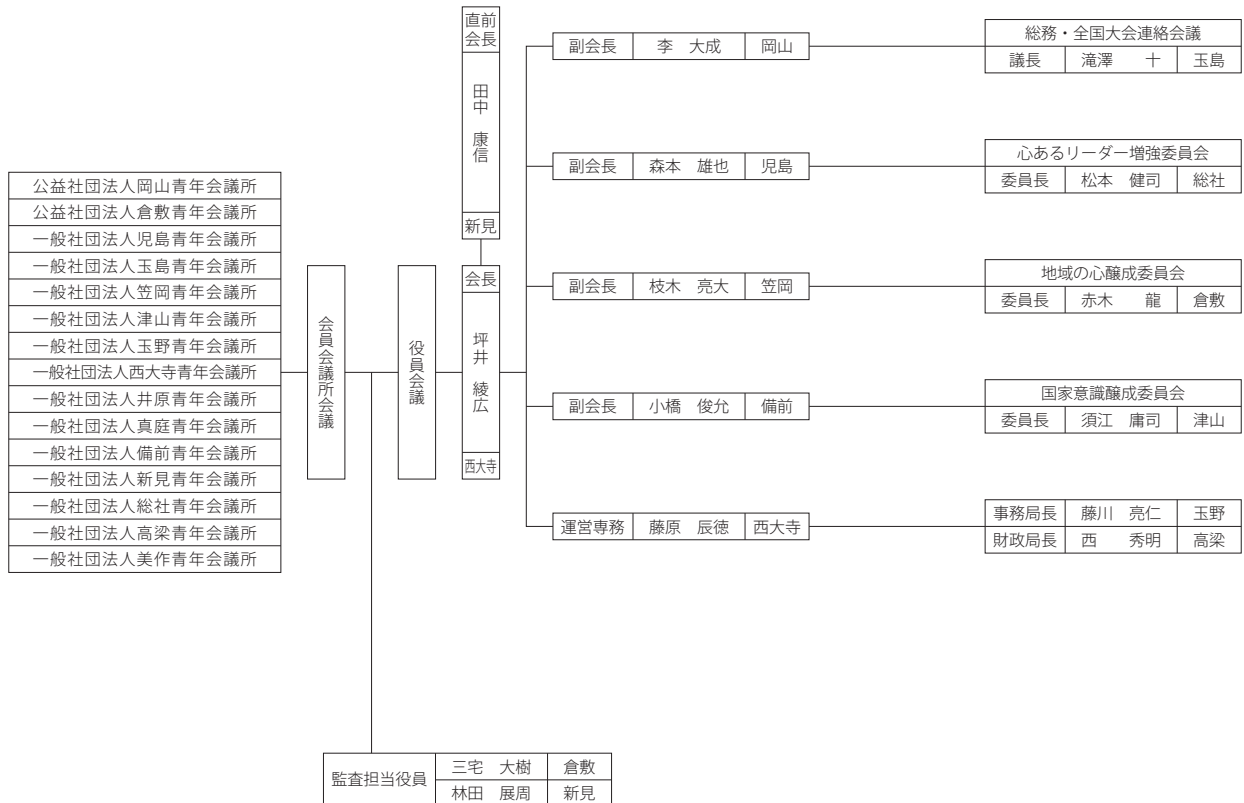
公益社団法人日本青年会議所 2016年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2016年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2016年度 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初代	1951年	江見祐吉	第34代	1984年	滝澤輝治
第2代	1952年	江見祐吉	第35代	1985年	小嶋光信
第3代	1953年	松田基	第36代	1986年	末長範彦
第4代	1954年	松田基	第37代	1987年	伊原木省五
第5代	1955年	服部好郎	第38代	1988年	池田金治郎
第6代	1956年	稲田洋一	第39代	1989年	若林昭吾
第7代	1957年	藤木昌二	第40代	1990年	中島康博
第8代	1958年	池田徳五郎	第41代	1991年	永野資幸
第9代	1959年	庭瀬欣一郎	第42代	1992年	松田久
第10代	1960年	松田堯	第43代	1993年	服部恭一郎
第11代	1961年	関種雄	第44代	1994年	柳井淳
第12代	1962年	西下賢治	第45代	1995年	森下矢須之
第13代	1963年	逢沢英雄	第46代	1996年	西康宏
第14代	1964年	石原真臣	第47代	1997年	梶谷俊介
第15代	1965年	小林達也	第48代	1998年	稲荷泰瑛
第16代	1966年	中島輝夫	第49代	1999年	永山久人
第17代	1967年	黒瀬友近	第50代	2000年	黒瀬仁志
第18代	1968年	小林稔	第51代	2001年	西川智晴
第19代	1969年	奥山勝太郎	第52代	2002年	岡崎正裕
第20代	1970年	中島博	第53代	2003年	藤原史暁
第21代	1971年	木原佑一	第54代	2004年	梶原康彦
第22代	1972年	黒瀬敦美	第55代	2005年	八木一成
第23代	1973年	中野英一	第56代	2006年	占部守弘
第24代	1974年	徳元秀臣	第57代	2007年	吉村武大
第25代	1975年	福武和彦	第58代	2008年	石田敦志
第26代	1976年	片山義久	第59代	2009年	永山雅己
第27代	1977年	伊原木一衛	第60代	2010年	岸本浩二
第28代	1978年	石田規夫	第61代	2011年	中山賢太郎
第29代	1979年	藤原敬介	第62代	2012年	有松林太郎
第30代	1980年	前坂匡紀	第63代	2013年	尾崎茂
第31代	1981年	服部弘平	第64代	2014年	鈴木賢史
第32代	1982年	野津喬	第65代	2015年	久松朋史
第33代	1983年	岡崎彬			

(敬称略)